

令和3年度ホタテガイ採苗情報（第2報）

令和3年4月23日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



県中南部ではラーバ数が増加。付着稚貝はわずか。

< 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は8.5℃で透明度は13mでした。
- 唐丹湾のホタテガイラーバは、殻長200μm未満の小型個体が120個/m³、200μm以上の大型個体が19個/m³確認されました。
- ムラサキイガイ、キヌマトイガイのラーバ数も増加しています。
- 唐丹湾において、ホタテガイの付着稚貝がわずかに確認されました。

< 陸奥湾の状況（4月22日発行ホタテガイ採苗速報（第3号）） >

- 260μm以上の付着直前のラーバ出現数や試験採苗器へのホタテガイの付着数が増加。
全湾で採苗器の投入を進め、来週中に完了するよう周知。

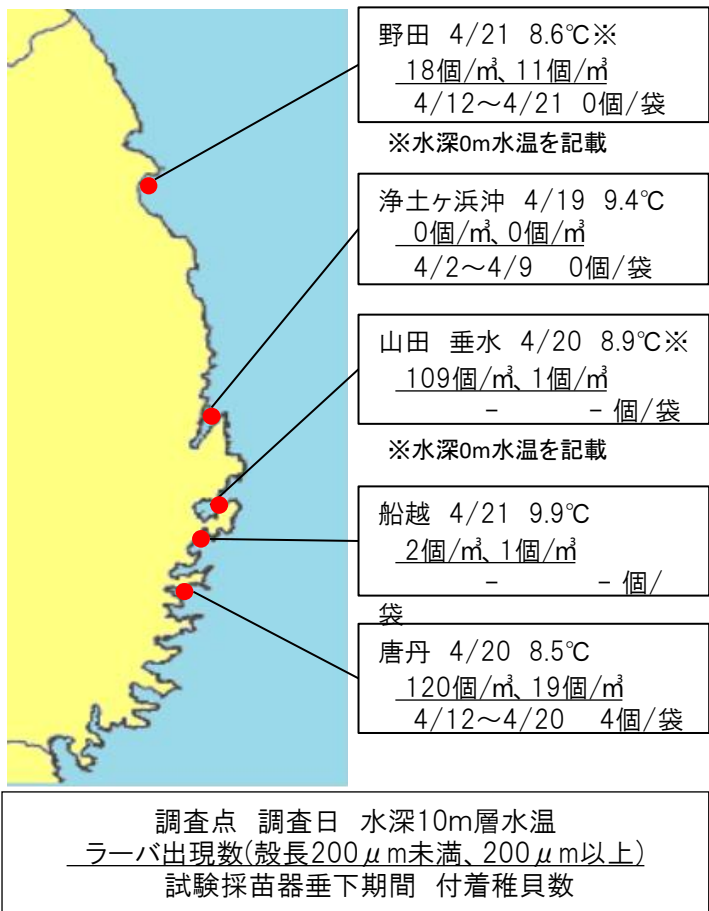


図1 各定点の調査結果
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

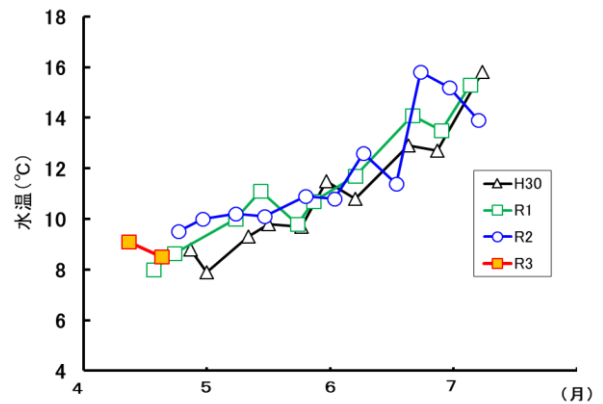


図2 唐丹湾定点における水深10m水温

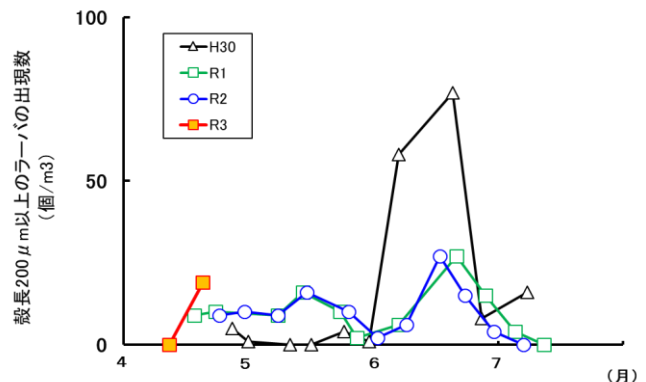


図3 唐丹湾におけるホタテガイラーバ出現数

次報は、4月28日頃に
発行する予定です。